

## 迫りくるシカ被害に備えて

東北森林管理局

三陸北部森林管理署 森林官（田野畑担当区） 菊池 耕太  
 岩手北部森林管理署 地域技術官 市原 良浩  
 （元 三陸北部森林管理署 一般職員）

### 1 課題を取り上げた背景

三陸北部森林管理署は岩手県沿岸北部の田野畑村、岩泉町、宮古市及び山田町の国有林を管轄しています。近年、管内ではニホンジカの分布が拡大しており、特に宮古市と岩泉町で農林業被害が増加し、様々な対策が実施されていますが、当森林事務所が所在する田野畑村では被害が小さいため対策がほとんどとられていません。しかし、今後分布の拡大によって被害が広がることが予想されることから、現在被害の小さな地域でのシカ対策も重要です。そこで当署管内4市町村における獣害及び狩猟を取り巻く現状を把握し、田野畑村で今後の増加が予想されるシカ被害の防止対策等を検討しました。

### 2 取組の経過

#### (1) 管内のシカ生息域、被害・対策状況調査

シカの分布及び被害は岩泉町及び宮古市の内陸部で多く、対策も多く実施しています。沿岸部の田野畑村及び山田町では分布及び被害が少なく、対策もあまり実施していません。

表 各市町村のシカ被害状況と対策事業費（平成25年度）

市町村	農業被害額	被害状況(聞き取り)	対策事業費
田野畑村	236千円	ほとんどない	12千円
岩泉町	算出せず	農業被害 林業被害	5,173千円
宮古市	1,443千円	農業被害 高山植物の食害	6,784千円
山田町	300千円	ほとんどない	370千円

宮古市の農業被害額のみ平成23年度の値。

#### (2) アンケートによる管内の猟友会の意識調査

田野畑村猟友会は会員数が少なく、さらに高齢化も著しいことがわかりました。また管内の各猟友会でシカの捕獲意欲は高いですが、田野畑村猟友会員のシカ捕獲経験はほとんどありませんでした。特にわなによる捕獲経験はなく、捕獲技術が普及途上であることが推察されました。

#### (3) 田野畑小学校児童（4～6年生）の狩猟に関する意識調査・環境教育

将来狩猟をやりたいという児童は全体の22%いることから、今後の田野畑村で狩猟者を確保できる可能性が示唆されました。また、野生動物とその被害について知りたいという児童が多かったため、環境教育を行いました。

#### (4) 田野畑村鳥獣被害防止対策協議会への参画

### 3 実行結果

以上の取組から、田野畑村でのシカ被害防止対策を検討しました。

- (1) モニタリング体制の構築
- (2) 先進地域の取組の導入
- (3) シカに関する知見の向上
- (4) 捕獲技術の向上
- (5) 環境教育の実施

### 4 考察

シカ被害、対策は管内の市町村で違いがみられました。田野畑村では現在シカによる被害は小さいですが、今後分布の拡大とともに被害の拡大が予想されるため、被害が小さいうちから準備をし、被害の拡大に備えることが重要です。被害防止対策は多岐にわたる取組が必要ですので、行政機関だけでなく、地域が一体となった対策が求められます。その一環として、学校や地域住民への環境教育等を通じて獣害及び狩猟等に対する意識の向上を図ることが効果的です。また、シカによる被害は市町村の境を越えて広範囲にわたっていますので、他市町村、隣接する森林管理（支）署、地域住民等とも連携を深め、今後も地域と連携した効果的且つタイムリーな取組を進めていきたいと思っております。



環境教育資料